

日本海海戦

戦闘の経過

はじまり

- 1905年5月27日未明、ロシア艦隊がウラジオストクに向かうため、対馬と壱岐島の間を侵入。
- 4時45分、信濃丸によって敵艦隊発見の報告が打電される。



戦闘の経過

- ▶ 日本艦隊が、ロシア艦隊の二列縦陣それぞれの先頭にある艦隊を攻撃開始。
- ▶ 途中、ロシアの指揮官であるロジェストヴェンスキーが人事不省に陥る。
- ▶ 結果、ウラジオストクには入れたのは38隻のうち3隻だけである。



はじめて使われた無線

- ▶ 1899年まで世界中で艦隊同士の通信には信号旗が用いられていた
- ▶ 日本では1903年、無線開発に成功し、三六式無線機（通信可能距離約1000 km）が誕生し、日本海海戦に実装させた。

参考文献

- ▶ 日本海海戦-敵艦見ゆ-秋山真之
www.sakanouenokumo.com/setteki.htm
- ▶ 野村實 1999 『日本海海戦の真実』 講談社現代新書, p.230
- ▶ 無線通信の実験に成功—無線歴史展示室
www.yrp.co.jp/facilities/exhibition/zone-2.html
- ▶ (著) ロバート・フォーチェック (訳)平田光夫 2010 『連合艦隊VSバルチック艦隊 日本海海戦1905』 大日本絵画, p.79
- ▶ (146) 続戦艦三笠
dokkou.travel.coocan.jp/zakki/1matome/146zokumikasa/zokumikasa.html